

業界ダントツNo.1 FAX機械情報

全国5,000ホール配信

無断での転載は  
お断り申し上げます。

号外版

データCOMPASS

コンパス

2014/1/8  
第4号GLOBAL  
Amusementグローバルアミューズメント株式会社 TEL 03-6805-1028  
〒150-0002 東京都渋谷区渋谷1-12-2 クロスオフィス渋谷8F FAX 03-6805-1029

～今年商品知識が業績に直結するぞ!!～

## 2014年、機械選びのポイント(パチスロ編)

グローバルアミューズメント株式会社  
代表取締役 青山 真将樹Hondaのマーケティングプロジェクトリーダーとして新商品の開発企画に従事。  
企画商品は「日本カーオブザイヤー」、「日経新聞大賞」など各賞を獲得。2007年、とあるコンサル会社に入社。在籍6年9か月で4度の  
「年間最多コンサルティング受注」を獲得、現役最強トップコンサルタントとして突出した  
存在となる。2013年12月、パチンコ・パチスロの機械評価・市場分析に特化した、  
コンサル&シンクタンク会社グローバルアミューズメント株式会社を設立。  
現在、ホール&メーカーの双方から支持される業界唯一のコンサルタントであり経営者。  
(雑誌 PIDEAIにて「データDYNAMITE High School」を好評連載中)社長  
青山

皆様、こんにちは。グローバルアミューズメント株式会社 代表取締役 青山真将樹です。

新会社を立ち上げ実稼働2週間。全国の皆様から沢山の応援FAX、お電話、お華などを頂き最高のスタートとなりました。皆様!! 心から感謝いたします。あらためて、皆様の変化に対する期待の大きさをヒシヒシと感じております。また、本日第1回を配信いたしました「データCOMPASS本編(パチンコ版)」にも想定以上の配信申込を頂きました。

こちら心からの感謝です。2月以降の注目機種について解説しておりますので機種購入の判断材料をお求めの方は、今からでもぜひお申込みくださいませ。(次回 パチスロ版の配信は1月16日を予定しております。) さて、本日の記事テーマは「2014年、機械選びのポイント(パチスロ編)」です。特に前半戦はパチスロ大型機が相次いで登場する流れです。勉強意欲の高い皆様は、ぜひ本日の記事をご覧頂き、機種購入の判断材料としてください。宜しくお願い申し上げます。

## ■パチスロの一般化は今年も着々と進むと分析

昨年6月の北斗転生登場以来、パチスロ部門は“マニアの遊び場”から“普通のサラリーマン層も出入りするコーナー”に着々と変化していると観ています。パチンコの遊技環境が悪化している背景もあり、「パチスロの方が低投資でストレス少なく遊べる」という認識がプレイヤーにも根付きつつあります。4号機時代の高射倅イメージを求めるプレイヤーは

業界人が思っている以上に少なくなり、「少投資で長時間遊ぶ“ゲーム感覚プレイヤー”」、「短時間でパッと遊ぶ“ストレス解消プレイヤー”」

の2つが、現状のプレイヤーニーズの“2極”だと分析しています。そして、現在のプレイヤーは、一部のプロを除き「勝ちたいのは勿論だけど、基本的にはパチスロは負けるモノ」という考え方の人達です。昔より勝ちへのこだわりが薄くなっているため、商品情報を調べる度合いも確実に低くなっています。雰囲気的にはマニアックに見えるパチスロプレイヤーも全体的には“一般化”の道を歩んでおり、「ゲームシステムを解り易く理解させる機能」が、安定稼働機の必要要件になっていると分析しています。ここまでの記述をふまえ、2014年はパチスロ機選びのポイントとして、以下①～③について特に注目しています。

## ①AT突入100%×設定1 初当たり合成確率 1/350以上

現在のプレイヤーはAT(ART)突入を目的として遊技しているプレイヤーが増えています。北斗転生のように設定1の初当たり合成確率が1/350前後となる機械は、業界人の考えでは“初当たりが深い機械”とされていますが、初当たりをひけば確実にAT(ART)を体験させてくれるので、特に短時間遊技プレイヤーには「遊び易い機械」と認識されているようです。プレイヤーは新台遊技時には平均で13000円前後の準備金額がありますので、AT突入100%なら北斗以上に初当たりが深くてもプレイヤーは遊技できると分析しています。

## ②枚数管理機

化物語で注目されている枚数管理ですが、元来、「少ない予算でじっくり遊びたいゲーム感覚プレイヤー」は“払い出しに対する担保”があると、安心を感じてくれるようです。このタイプのプレイヤーは、勝つことよりも“大負けしないこと”を重視します。従って“初当たりが浅め”と“枚数管理”は特に相性が良いと分析しています。

## ③AT(ART)中減算無しイベントが面白い機械

特に、高純増化が進み、大量G数上乘せを発生させづらくなっているAT機においては10G～20Gの“チョコ乗せ”をどれくらい面白く魅せるか?が娯楽感を増す上で重要になっています。一番わかり易いのは北斗転生のSPバトルですが、一旦、G数の減算を止めたセフティーゾーンを設け、「どこまで続くのか?」とドキドキ楽しませる手法は、枚数管理とは対極の考え方で、ストレス解消客にはウケル要素になると分析しています。枚数管理の次は“AT(ART)中減算無しイベントが充実した機械”がクルのでは?と私は考えています。勉強すると業績が上がるぞ!! 本日も最後までお読み頂きありがとうございました。



# 設立記念 第2弾

～青山真将樹 直伝～

# 機械評価勉強会 3会場で開催!!

お申込用紙はコチラ!!



送信方向

# FAX (03) 6805-1029

お申込用紙を記入してFAXを送信!!

## 偏差値70の機械購入判断勉強会 グローバルアミューズメント 機械評価勉強会 無料勉強会 お申込用紙

会社名 (必須)			
会社住所 (必須)			
お名前 (必須)		役職 (必須)	
電話番号 (必須)		FAX番号 (必須)	
メールアドレス (必須)			

開催日	会場名	ご参加希望 チェック欄	ご参加者人数
1月22日(水)	<大 阪> TKP大阪梅田駅前ビジネスセンター	<input type="checkbox"/>	名
1月23日(木)	<名古屋> 名古屋ABC貸し会議室	<input type="checkbox"/>	名
1月24日(金)	<東 京> 上野ラベルオーラム	<input type="checkbox"/>	名

※開催時間:13:00~17:00(受付12:30~) ※ご参加人数最大3名様まで(先着順ですので、ご希望に添えない場合がございます。)

各会場人数に限りがありますので  
定員を過ぎた後に頂いたお申込みはキャンセル待ちの  
ご連絡をさせていただきます。